



## 下関市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の年次報告



本市では、近年の国内外における環境情勢や、2021（R3）年5月に「ゼロカーボンシティしものせき」を宣言したことを踏まえ、2022（R4）年5月に、下関市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を改訂し、下関市域から排出される温室効果ガスの削減に向け、市民・事業者・行政等の各主体の取組を総合的かつ計画的に推進しています。

### 基準年度と計画期間

- 基準年度：2013年度（平成25年度）
- 計画期間：2019年度（令和元年度）から2030年度（令和12年度）まで

### 温室効果ガス排出量の削減目標

#### 中期目標

2030(R12)年度に2013(H25)年度比で  
46%削減(1,931千t-CO<sub>2</sub>)

#### 長期目標

2050(R32)年度温室効果ガス排出量  
実質ゼロ

### 進捗管理

1. 下関市域の温室効果ガス排出量の実績
2. 具体的施策の実績

# 1. 下関市域の温室効果ガス排出量の実績

**2024(R6)年度 温室効果ガス排出量 (2022年度実績) 2,441千t-CO<sub>2</sub>**  
**⇒ 基準年度(2013(H25)年度)比 31.7% 減少、前年度比 13.8%減少**



**基準年度比における削減の主な要因**

- ・エネルギー消費量の減少 (省エネの進展)
- ・電力の低炭素化 (再生可能エネルギー拡大) に伴う電力由来のCO<sub>2</sub>排出量減少

**前年度比における削減の主な要因**

- ・算定手法の変更による運輸部門の減少
- ・中国電力下関発電所の廃炉に伴う電力使用量の減少

## ●各温室効果ガス排出量

(千t-CO<sub>2</sub>)

部門	基準年度 (2013年度) 排出量	2022年度 (2020年度実 績) 排出量	2023年度 (2021年度実 績) 排出量	2024 (R6) 年度 (2022年度実績)		
				排出量	削減量 (2013年度比)	増減率 (2013年度比)
産業部門	1691.17	1387.00	1429.04	1356.02	▲335.2	▲19.82%
家庭部門	586.72	376.03	362.33	358.34	▲228.4	▲38.93%
業務その他部門	436.60	206.22	205.83	214.47	▲222.1	▲50.88%
運輸部門	584.99	642.30	642.02	414.47	▲170.5	▲29.15%
廃棄物部門	28.75	45.29	39.68	33.84	5.1	17.69%
エネルギー転換部門	199.89	63.91	96.83	12.06	▲187.8	▲93.97%
その他温室効果ガス	47.75	46.60	56.75	52.16	4.4	9.24%
合計	3,576	2,767	2,832	2,441	▲1,134.5	▲31.73%

## ●部門別内訳



## 2. 具体的施策の実績

進捗状況	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
A : 順調に実施 (80%以上)	31 施策	31 施策
B : 半分程度は達成 (50%以上)	7 施策	5 施策
C : 遅れている (1~49%)	4 施策	2 施策
D : 実施できていない	0 施策	1 施策
施策終了	1 施策	3 施策
合計	43 施策	42 施策

「順調」「半分程度は達成」の合計は36施策で、前年度より2施策減少しました。

また、3施策が「施策終了」となっていますが、令和7年度から新たに取り組む施策もあり、状況に応じて適宜見直していきます。

詳細は、別紙1「下関市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)進捗管理表」をご確認ください。

### 3. 市域の温室効果ガス排出量の推移と中期目標達成の見通し



- ・2022年度実績数値を基に2030年度の排出量を推計すると、**2,058千t-CO<sub>2</sub>**となり**目標達成できない見通し**です。
- ・目標達成に向けたアプローチとして、今後以下の施策展開を検討します。

- ① 市域の電力使用量を「減らす」⇒ 産業、家庭、業務その他部門における再エネ・省エネ設備導入に対する支援など
- ② 市域の再エネ電力調達量を「増やす」⇒ 再エネ電力との契約を支援（エコポイント付与など）
- ③ 市域の自動車を「電動化」⇒ 住宅（集合住宅含む）や店舗への充電器設置支援や、業務部門におけるEV購入支援など